人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。

なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の試料（例：血液など）や診療情報（例：カルテの情報など）をこの研究に使ってほしくないと思われた場合にも、下欄の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

| | |
|---|---|
| **≪試料・情報の利用目的及び利用方法≫** | ●研究の名称<br>消化器外科手術における術前鼻腔黄色ブドウ球菌保菌と Surgical Site Infection に関する観察研究 |
| | ●研究の対象<br>2019 年 1 月～2025 年 12 月の期間に、当院上部消化管外科、下部消化管外科、肝胆膵外科において全身麻酔下で手術を受けられた 18 歳以上の方 |
| | ●研究の目的<br>手術部位感染症とは手術操作が直接加わった部位に見られる感染症であり、あらゆる手術で起こりえる合併症です。合併すると入院期間の延長など医療費の増大に関係するとされています。消化器外科手術後の手術部位感染の原因にはいろいろな理由がありますが、中でも鼻腔に特定の常在菌がいることによって感染がおこりやすくなる可能性があると考えています。この研究では実際に特定の菌を保菌している人とそうでない人の感染の起こりやすさの比較を行います。 |
| | ●研究の期間<br>研究機関の長による実施許可日から 2030 年 12 月まで |
| | ●利用又は提供を開始する予定日<br>研究機関の長による実施許可日 |
| | ●他の機関に提供する場合には、その方法<br>この研究では外部へ試料・情報を提供しません。 |
| **≪利用し、又は提供する試料・情報の項目≫** | ●研究に使用する試料・情報<br>年齢、性別、病歴、薬剤歴、生活歴（飲酒・喫煙）、身長、体重、血液検査結果、術前鼻腔培養結果、手術情報、術後経過情報等の、主にはカルテから得られる情報 |
| **≪利用する者の範囲≫** | ●機関名および責任者名<br>研究機関：浜松医科大学　外科学第二講座　竹内裕也 |
| **≪外国にある者に対する試** | この研究では外国にある者へ試料・情報を提供しないため、該当しません。 |

| | |
|---|---|
| 料・情報の提供≫ | |
| ≪試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称≫ | 国立大学法人浜松医科大学 |
| ≪試料・情報の利用又は他の研究機関への提供の停止（受付方法含む）≫ | あなたの試料または情報を研究に使用することや、他の研究機関に提供することを望まない場合には、問い合わせ先まで連絡をいただければ、いつでも使用や提供を停止することができます。連絡方法は、以下≪問い合わせ先≫をご確認ください。 |
| ≪資料の入手または閲覧≫ | この臨床研究の計画や方法については、あなたのご希望に応じて資料の要求または閲覧ができます。あなたがご自分の研究結果を知りたいと希望される場合は、研究担当者にその旨をお伝えいただければ、他の研究対象者に不利益が及ばない範囲内で、あなた自身にあなたの結果をお伝えします。希望された資料が他の研究対象者の個人情報の場合には、資料の提供または閲覧はできません。 |
| ≪情報の開示≫ | あなたご自身が研究の概要や結果などの情報の開示を希望される場合は、他の参加者に不利益が及ばない範囲内で、原則的に結果を開示いたします。しかし、情報の開示を希望されない場合は、開示いたしません。<br>また、本研究の参加者以外の方が情報の開示を希望する場合は、原則的に結果を開示いたしません。 |
| ≪問い合わせ先≫ | 〒431-3192<br>浜松市中央区半田山一丁目 20 番 1 号<br>浜松医科大学<br>部署名：　外科学第二講座<br>担当者：　大林未来、武田真<br>TEL：　053-435-2279<br>E-mail：　obayashi@hama-med.ac.jp<br>mtakeda@hama-med.ac.jp |